

そわにえ
Soigner



第26号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2013年12月20日発行

発行/東京訪問看護ステーション協議会(責任者 嶋森好子)
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
株式会社プロコムインターナショナル内
TEL: 03-5520-8824 / FAX: 03-5520-8820
http://www.tokyohoukan-st.jp

INDEX/

- ぼん・くらーじゅ ……① ブロック会報告 ……⑥
- 欧州研修報告 ……② 訪問看護の進化 ……⑦
- ステーション紹介 ……④ 編集後記他 ……⑧



ウィンターイルミネーション(新宿アイランド)

こんにちは、訪問看護仲間の皆さん。
今年度より東京訪問看護ステーション協議会の副会長に就任しました、椎名です。

皆さんへのご挨拶が遅くなりましたことをお詫び申し上げますとともに、長年「そわにえ」をご愛読くださっている方々に感謝を申し上げます。

協議会発足当初より「そわにえ」は「訪問看護師がステーションに戻ってきて「見るとホッとする温かさのある広報誌」を目指してきました。広報委員の方々はじめ、会員の皆さんにより、当初のコンセプトをこれまで受け継いでくださったことを大変嬉しく思っています。

就任所信表明ではありませんが、私には訪問看護師の方々と共に創りあげていきたい未来像があります。それは数十年後、世界中の教科書に「世界で誰も経験したことのない超高齢化社会を、日本は訪問看護師の革新的活躍により乗り越えた」と書かれるほどの歴史に残る「訪問看護力による、笑顔いっぱい地域社会」です。訪問看護師は、個々のご利用者さんに合わせた上手なコミュニケーションで、どのようなご利用者さんやご家族のハートをも射

東京訪問看護ステーション協議会 副会長
(訪問看護ステーション 管理) 椎名 美恵子

「笑顔いっぱいの未来」を
迎えに行きましょう!

止める凄じ能力の持ち主ばかりです。その抜群のコミュニケーション能力で「訪問看護を広報」し、日本中の方々に訪問看護を知ってご利用して戴くと共に、訪問看護師仲間を増やしていきましょう。

Bon Courage
ぼん・くらーじゅ

そして、訪問看護師は、日々ご利用者さん宅で斬新なアイデアを提案・実行し、ご利用者さんの「今」だけでなく「これから」を見越した看護をおこなえる素晴らしい方々です。その発想力・創造力・行動力を社会にも発信し、社会変動を見据えた視点で革新的アイデアを戦略的に実践し、不安のない超高齢化社会を迎えましょう。「未来が来るのを待つ」のではなく、「未来を迎えに行く」姿勢が大切だと思います。

最後に、地域の方々が楽しみに待っているのは「訪問看護師のとびきりの笑顔」です。訪問看護師同士支え助け合いながら、愉しく心地よい看護を続けられるよう、この協議会も皆さんのお役に立てればと思います。皆さん、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。



訪問看護の現場を視察する
秋葉厚生労働副大臣と共に

海外視察研修に参加しました

■ オランダ訪問看護を視察してみても ■



アルメロからアムステルダムに向かうバスの車窓。とにかく山の無い国でした。



ディアナさんの訪問看護に同行。

このたび、全国訪問看護事業協会から海外訪問看護視察研修のお誘いがあり、思い切って夏休みを利用し、8泊9日オランダイギリスに16名のメンバーで行って来ました。その中でも印象深かったオランダの研修について皆さんにお話します。

オランダという国について私はほとんど無知でした。麻薬や売春が合法で、安楽死もOKの国程度のお恥ずかしい知識しかなく、事前学習で少しわかりかけたものの、行って初めてわかった事ばかりでした。日本も今盛んに「地域包括ケア」と騒いでいますが、オランダは世界で初めて日本の介護保険制度に似た強制加入の社会保険制度を導入した国です。古くから地域看護師（コミュニティナース）と言われる専門職が、地域住民の健康を家庭医とともに守り、高い職業地位として評価されています。日本のように訪問看護師不足で現場が困るというより、病床数の少ないオランダでは、臨床ナースより、地域で働くコミュニティナースが資格レベルも格上で、看護師なら是非目指したいところのようです。

今回の実習先「Buurtzorg」は、2006年に看護師4人で始めた訪問看護介護の事業所が、九州ほどの広さのオランダ全土に約600チームに成長。看護師、介護士、リハ職約6,500人が活躍しています。「利用者の力を第一に、利用者とそのネットワークとの協働により、最良の解決策を見いだす。そのために各ナースが全て

のプロセスに全責任を持って専門性の高いケアを提供する」というミッションに基づき、フラットな自律型チームがあらゆる利用者にトータルケアを提供し、各地域の実態にあった予防プロジェクトも展開しているというところで

す。アムステルダムからバスで2時間ほどの都市アルメロの「Buurtzorg」の本部で代表のJos de Blok氏からのレクチャーを聴き、翌日は各Buurtzorgの事業所に2~3名ずつ別れ、コミュニティナースと一緒に訪問看護に車でまわりました。朝の8時から11時までで8名の利用者さんに会う事ができました。ほとんどが日本のように、独居や、高齢者世帯でした。ただ感じた事は、住宅事情は貧困層が入ると言われる住宅でも、十分な広さがありました。ケアの内容は、状態の確認が基本で、服薬管理だったり、喉頭がんの気管

孔のケアだったり、弾性ストッキングを履かせるといったケースを見ました。



オランダ人のコミュニティナースたちと buurtzorg の事務所にて。みんな ダイナマイトボディ。心もダイナマイト級。

大成功させた Buurtzorg の創始者 ヨスさん。カッコ良かったです♥



通訳のシャボットさんのカントリーハウス招かれ一息。



コミュニティナースのディアナさんの訪問看護に同行しました。高齢者夫婦でこれからデイに行くところ。

家庭医のヤープ氏とわが国の訪問看護の大御所メンバー。



同行したナースdianaさんは、自家用車のフィアットを好きな音楽をかけながら運転し、私服、裸足、サンダル履き、持ち物は鍵と携帯電話、ipadだけでした。みんな彼女の明るい表情や会話に安心する表情を見せてくれました。彼女はこの地域で働くのが大好きだそうで、昔は2年ほど病院で働いた事もあったけどコミュニティナースになれば、3人の子育てもしながらの生活を楽しそうに話してくれました。本当に彼女も訪問看護が好きでやっているのだなと感じました。

オランダでもイギリスでも「家庭医制度」があります。日本のように患者がフリーアクセスで好き勝手に医療機関にかかる事は出来ません。まずは地域の家庭医が診察し、

適切な医療機関への橋渡しをします。この制度がない日本では、私たち現場で働く訪問看護師は困る事がありますが、患者さんたちも困っている人も多いはず。介護保険のかかりつけ医意見書はどの先生に書いて貰うかという事は、「家庭医制度」のある国では想像出来ないでしょう。日本も地域包括ケアを押し進めるには、ゲートキーパーになる家庭医の存在はかなり重要だと思います。「家庭医」も「訪問看護師」も質が問われるはず。無駄な医療費の削減を考えるなら、疾病予防や医療の適正化（検査や処方）が大切です。日本も消費税が8%になりますが、オランダでは19%という高い税率です。保険者を民間保険会社にさせているというのにも、うなずけました。これから日本はどうなるのでしょうかと、政治にも関心が深まりました。

(上野訪問看護ステーション 天木)

ビックリ仰天の駐輪場



アムステルダムの街並み。運河と自転車とギョウギウの建物。人も多かった。

口腔ケアキット トゥーセットQケア

「Qケア」は、CDCのガイドラインに紹介されているSchleder達の文献にある“comprehensive oral hygiene program (包括的口腔衛生プログラム)”を実践しやすいようキット化されたものです。

VAP予防の成功のポイント

- シンプルなケアの導入 → **コンプライアンスの向上**
- ケアの統一・標準化 → **ケアの品質を確保**
- CPC配合の保湿剤を使用 → **乾燥予防と口腔内細菌の増殖を抑制**
- 磨き残しを意識したブラッシング → **空振りしないケア**
- 体位交換前の吸引 → **垂れ込みの防止**



Q4 (4時間毎に、1日6回用)



Q8 (8時間毎に、1日3回用)



販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製造販売元 株式会社トータルメディカルサプライ
大阪市淀川区東三国2丁目34番1号
ハイランドビル7F

2013年5月作成

Vol.33 **すまいる 訪問看護ステーション**

訪 問 看 護

ダ ー ツ の



東大和市と多摩市を結ぶ、多摩都市モノレール線



東大和市・村山貯水池

す まいるの仲間
看護・リハビリス
タッフ間の交流がさか
んで、それぞれの持ち
味を活かしながら連
携し、和気藹々とし
た雰囲気事務所内
に溢れています。迷
ったらず相談！を合
言葉に、一人で悩ま
ず皆で力を合わせる
体制作りに努めてい
ます。

はじめまして、すまいる訪問看護ステーションです。“笑顔は力”をモットーに、ご利用者様・ご家族の方々に日々笑顔で日常生活を送っていただけるようステーションの名前を「すまいる」にしました。

す まいるは「私が自分の家族にしてあげたい看護、リハビリをしたい」そんな想いのスタッフが集まったステーションです！皆で楽しく、助け合い、働いているスタッフも含め、かかわった全ての人を幸せにしたいという熱い思いを抱き、経営理念を「Become Happy!」と掲げ、平成23年2月看護師・理学療法士が、ステーションを開設しました。

翌平成24年2月に、より地域に密着した事業所を目指し、東村山市にサテライトを設置しました。

現在、看護師8名・リハビリスタッフ15名(PT8名/OT5名/ST2名)・事務スタッフ3名の体制で東大和市、武蔵村山市、立川市、東村山市を中心に訪問看護の業務を行っています。

ス テーション周辺

本部のある東大和市は北部に狭山丘陵、村山貯水池を擁する、人口約8万人のベッドタウン。市の西部に多摩都市モノレール線が南北に通り、表玄関にあたる南街には青梅街道が、また市の中央を東西に新青梅街道が走っています。

リハビリスタッフは特に看護との連携により、リスク管理の面においてのフォローアップが得られ、ご利用者様にとっても安全なリハビリサービスの提供が図れています。

最 後に

開設から4年目を迎えようとしており、まだスタートを切ったばかりのステーションですが、これからも沢山の皆様との一期一会を大切に、いつまでも地域の皆様に親しまれ愛される、そんなステーションに成長し続けたいと思っています。



東大和本部のスタッフ

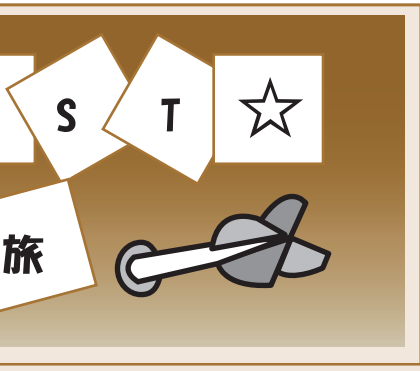


東村山営業所のスタッフ

株式会社ITU すまいる訪問看護ステーション
代表取締役 佐藤貴之

東大和本部
〒207-0021 東京都東大和市立野1-1139-1 リライズ東大和101
TEL 042-516-8616 FAX 042-516-8617

東村山営業所
〒189-0022 東京都東村山市野口町1-23-23 須藤ビル2階
TEL 042-313-0606 FAX 042-313-0707



旅

訪問看護ステーション アオアクア

Vol. 34

はじめまして、訪問看護ステーションアオアクアと申します。都営新宿線の大島駅から徒歩2分の場所に2011年5月に開設した3年目のステーションです。

江東区は、下町の亀戸・砂町から新しい街の東雲・豊洲・有明まで、古今が混在する情緒ある地域です。また、臨海副都心は2020年の東京オリンピックの会場としても注目を集めており、いま急速に発展しています。

当ステーションは、江東区全域を中心に江戸川区・墨田区をサービス提供エリアとして24時間対応、年中無休で、訪問看護とリハビリのサービスを提供しています。開設当初は看護師3名、PT1名、事務員1名でしたが、現在は、看護師9名、リハビリスタッフはPT・OT・STで14名、事務員3名となり、ご利用者が約230名と増え、今年5月に潮見サテライトを新設いたしました。

看護師・リハビリスタッフは在宅医療に対応できる幅広い疾患を経験しています。機器のIT化によって大島と潮見サテライトはインターネットを利用したTV 電話も可能で、申し送りや会議など、所内の連携や教育の充実に努めています。操作が簡単な電子カルテを導入し、外出先でもスマートフォンで記録や情報の確認を行い時間の効率化が図れています。緊急時も、その場で情報確認が可能のため安心して働いています。i-padも導入しており、小児か



江東区の北部地域



江東区の南部地域

ら高齢の方まで幅広いご利用者様の視聴覚に刺激を入れ、精神活動賦活・言語機能リハビリを行っています。

居宅事業所や施設等と密に関わり、ケアマネジャーさんやヘルパーさんとの連携も深め、医療的な視点から迅速な介入・対応を意識しています。それにより、ご利用者様・ご家族様に寄り添い、ニーズに的確に応えられる体制で業務にあたっています。これまでに、職場復帰したご利用者様もあり、移動が困難な方や急変が予測されるご利用者様の結婚式参加や野球観戦に同伴する事例もありました。日々、ご利用者様・ご家族様の笑顔に学ばせて頂きながら、今後も地域と在宅医療を支えていきたいと願っています。



潮見サテライトのスタッフ



大島のスタッフ

訪問看護ステーションアオアクア

代表取締役 井上晴貴

大島本店
〒136-0072 東京都江東区大島8-5-1-401 N&Hビル
TEL 03-5628-6120 FAX 03-5628-6140

潮見サテライト
〒135-0052 東京都江東区潮見2-10-22-205 エストアルカンシェル
TEL 03-6666-4817 FAX 03-6666-4917
<http://aoakua.net> E-mail:info@aoakua.net

ブロック会報告

城北ブロック

城北ブロック主催「地域で支える認知症の治療とケア」に参加して来ました。今回は訪問看護師のみでなく、地域のケアマネ等も参加可能で約80名の参加者がおり大盛況でした。今回は大田区で訪問診療を行っている、たかせクリニックの高瀬義昌先生を講師としてお迎えしての公演でした。短い時間（約1時間）でたくさんの笑いや認知症に対する学びを得ることができました。

研修に参加して1つ感じたことがあります。研修会は終業時間外の開催が多く、どうしても管理者1人の参加が多い気がしますが、皆様のステーションはどうですか？私は、誘うタイミングを逃すことが多く、ほとんど1人参加になっています。協議会主催の研修はブロックを中心に開催されており、アクセスのよい場所で行われることが多いと思います。そして、安価なことでも安心してうれしい点ではないでしょうか。

スタッフと一緒に参加できたら、知識の共有がその場で行え、すぐに実践に生かせるのではないかと考えています。次回の研修は2月です。私もスタッフを誘って参加したいと思っています。

(東電さわやかケア中野・訪問看護 鈴木)

城東ブロック

城東ブロックでは、10月9日に『病院から訪問看護ステーションへのスムーズな移行』というテーマで親睦会を開催しました。14か所の訪問看護ステーションと、14病院の看護職やMSWなど総勢約40名が集まり、情報交換を行いました。

病院側から「訪問看護でどのようなことができるのかわからない」「訪問看護を依頼しても、いっぱい引き受けてもらえない」などの悩みをお聞きました。

訪問看護側からは「退院サマリーの内容があまり活用できない」「早めに退院カンファをやってほしい」などの意見が出されました。病院では、退院調整部門だけでなく、病棟の看護師も退院調整を行っているものの、訪問看護についてはまだまだ理解されていないと感じました。

単なる情報交換だけでなく“訪問看護師から病棟の看護師宛に退院後の報告をしている”というステーション、“毎月必ず主治医に出す報告書を看護師も共有できれば良いのでは？”などの提案もあり、双方の実態を共有できたことは、非常に有意義だったと思います。今後、さらに発展していければ良いですね！

(なごみ訪問看護ステーション 葉山)

北多摩南ブロック

北多摩南ブロックでは、地域の様々な職場で活躍する看護職がお互いを理解し、つながるために6月21日「看護職ネットワーク研修会」を開催しました。あいにくの天候でしたが、99名の参加があり、連携への意識の高さを感じました。

病院看護師、地域包括看護師、施設看護師、訪問看護師によるシンポジウムの後、各地域に分かれて情報交換を行いました。初めて会った方や電話の声しか知らない方々とも、実際に会うことで距離が近づいた気がします。顔が見える・顔を知るといのは、大切な連携の第一歩だな、と再認識しました。

参加者にアンケートで訪問看護のイメージを聞きいたところ、24時間対応が辛そう、責任が重そうとマイナスイメージもありましたが、やりがいがありそう、いつか訪問看護をしてみたいという意見もあり、これから訪問看護の仲間が増えそうな予感を感じました。今後もブロック会をきっかけに、地域で連携の輪を広げていきたいと思っています。

閉会の挨拶もかき消すほどの盛り上がりで、看護師のパワーを感じた一日でした。

(武蔵野赤十字訪問看護ステーション 田中)



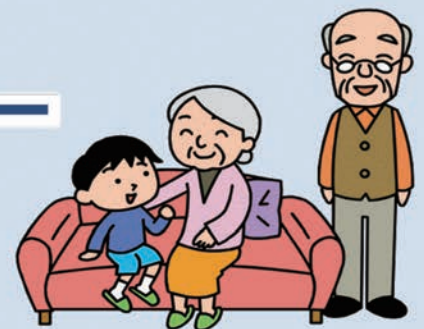
株式会社 サカイ・ヘルスケア

私たちの毎日の生活を支え、人を明るく元気にする
福祉用具を提案します。

・福祉用具販売 ・住宅改修 ・福祉用具貸与

定休日 (日曜日・祝日・年末年始)

〈三鷹店〉東京都三鷹市下連雀 9-3-15	Tel: 0422-42-6811	Fax: 0422-41-2722
〈昭島店〉東京都昭島市昭和町 4-11-20	Tel: 042-545-3388	Fax: 042-545-7788
〈入間店〉埼玉県入間市下藤沢 737-1	Tel: 04-2965-2010	Fax: 04-2965-2011



自宅ではないもう一つの家

訪問看護師が取り組む在宅支援の進化

ホームホスピス

はーとの家



『ホームホスピス はーとの家』を紹介します。今年4月に葛飾区東金町に開所しました。

ホーム (home) は家庭・家・故郷・地域、単に家を意味するものではなく、その人が安らぎを感じる居場所。ホスピス (hospice) はもてなすという意味で患者さんとその家族が、安心して望む場所で望むように生を全うできるように、医療と介護や様々な職種と連携して、最期まで支援するのがホームホスピスです。

拠点となる『訪問看護ステーションはーと』では利用者で末期がん・難病の方が多く年間で101名(平成24年度)の方を在宅で看取りの支援をしました。その中で老老介護や独居の方が多く本当は家にいたい、でも心配……というご本人や家族の方の心痛な思いを知る度に、何か、自分たちでできることはないかと考えました。病院でも施設でもない自宅ではないもう一つの家、生活ケアを受け家族とも過ごせるそれが第二の我が家である『ホームホスピスはーとの家』が誕生しました。

全国的には、九州・関西地区にホームホスピスとして開所されているところが10数か所あり、地域での信頼も厚くそのニーズはさらに高まっています。一方、関東では初の取り組みになり耳慣れないことから、どんなところなの?と、お問い合わせを多くいただきます。私たちは、一つの建物としての機能ではなく、広くホームホスピスを知ってもらい、住み慣れたどの地域にもあるあたたかい存在になりたいと

考えています。そのための活動にも積極的に取り組んでいます。

スタッフは15名で、常に介護職が常駐しています。経験豊富なベテランさんから、一緒に学び・成長しながらケアさせていただいている若いスタッフまで、家族の一員として、いつも笑いの絶えない明るい家ができました。

そこで働くスタッフの言葉です。「出会いと、時には別れを経験し、一期一会、その方と一緒に生活している家族として、コミュニケーションを通じて学ぶことが多く、ここで働いて本当に良かったと思っています。」外から訪問診療の先生が、訪問看護師が、訪問入浴さん、訪問介護さん、美容師さん、などなど自宅にいた時と同じサービスが受けられます。家族の方が一緒に泊まれる部屋もあり、一緒に過ごしたいという普通のことができるようになって大変喜ばれています。

合言葉は「葛飾にホスピスをではなく、葛飾をホスピスに!」最期まで、住み慣れた地域で安心して、その人らしく過ごすためのお手伝いをしていきたい!それが私たちの思いです。是非一度、お立ち寄りください。(文責 大貫真理)



ある看護師親子の会話

母:「おばあちゃん熱が出て入院したら、介護度いくつですかって聞かれてすごく怒ってたんだって」

娘:「70歳過ぎてたら介護度聞かよ。高齢の患者さん多いし、退院する時ケアマネとかに連絡しないといけないからね。」

母:「在宅療養に関心あるの？今度在宅と病院の連携の研修会あるから行く？」

娘:「人工呼吸器の研修会があるから行かない！でも、それって訪問看護の人が行くものでしょ？」

急性期病棟で働く娘さんは、様々な機器につながれた患者さんの安全を守るために必死で勉強中。「ミニドクターにならないようにね」と願い、いつの日か高齢者・退院支援・そして在宅療養という言葉が身に染みる時が来るだろうと思う訪問看護師のお母さんでした。



東京都では「連携」「退院支援」「訪問看護の充実」のために様々なモデル事業、イベントなどに取り組み、東京訪問看護ステーション協議会メンバーも積極的に参加しています。各ブロック会でも「連携」に関する取り組みが活発になっています。「連携」は訪問看護や在宅メンバーだけでできるものではありません。病院看護師に発信していくこと・・・いつするの？「今でしょ！」

編集後記

今年は台風の多い年でしたね。伊豆大島では甚大な被害がありました。島民の皆様・関係者の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。私たちの働く東京にも台風の上陸があり、訪問という性質上苦労が多かったと思います。

今回台風の影響で、「訪問看護フェスティバル」が延期になりました。振替開催日は、平成26年1月11日(土)に決定いたしました。

今回の延期により日程までに少し余裕ができました。訪問看護振興のためにもより多くのご協力・参加をお待ちしています。

(東電さわやかケア中野
・訪問看護 鈴木)



東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

11月30日現在の会員施設数
継続会員:??? 新規会員:?? 合計:???

【連絡先】〒135-0063 江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
株式会社プロコムインターナショナル TEL 03-5520-8824



「訪問看護ステーション業務ソフト」のことなら **ライフウェア**

Lifeware

煩雑な訪問看護ステーションの業務を **フルサポート!** ライフウェア 検索

診療報酬・介護保険法
改正対応!

高い機能性と
優れた操作性!

安心の
保守サポート!

サテライト事業所対応
iPad・Android 対応


(発売元・お問合せ) **株式会社 ライフウェア**
東京都渋谷区本町 1-4-3 エバーグレイス本町 3F
TEL : 03-3372-9581 FAX : 03-3372-9582

東洋羽毛は日本の生活に、高品質な羽毛ふとんを普及させたい。
羽毛ふとんを通じて、日本の生活文化の向上に貢献したい。その思いで60年になります。

私たちは常に社会と皆様の快適な生活のお役に立つには何が出来るのかを考え行動してまいりました。

一例として...

・1956年、第1次南極観測隊に羽毛服と寝袋を納入。
その後、現在まで南極越冬隊の羽毛服には
東洋羽毛の羽毛が使用されています。



皆様に信頼される企業である為に、責任を持ち、挑戦し続けます。

皆様に信頼されて60年

TUK 東洋羽毛首都圏販売株式会社

東京 営業所 ☎ 0120-195804
西東京 営業所 ☎ 0120-218104
南東京 営業所 ☎ 0120-559070

www.toyourno.co.jp